

馬淵逸雄 いせつ 陸軍軍人。明治二十年愛知縣生れ（一八九七）。昭和九年以降陸軍大臣官房附として「滿洲專變史」編纂に當る。その後支那派遣軍司令部の上海報道部長、南京報道部長を歴任。十五年陸軍省報道部長となり、任期中「如雲戰美術」と題する戦争時記録畫集を發刊、繪畫による戦争記録といふ報道分野を開いた。また「報道部員の心得」といふ孔版刷冊子を作成。のち中野正剛への肩入れから、その確執相手の東條英機に報道部長の座を逐はれ、朝鮮の聯隊長に轉出させられた。へ火野葦平、こころ玉井勝則佐長に執筆の時間を与え、あれだけい育てあげたのは、南京時代の馬淵の功績である（平櫛孝）。

著書に「報着戰線」（昭和十六年八月四日改定社）、「國民の懇話」（平出英夫今日著、昭和十六年九月二十日大新社）等。